

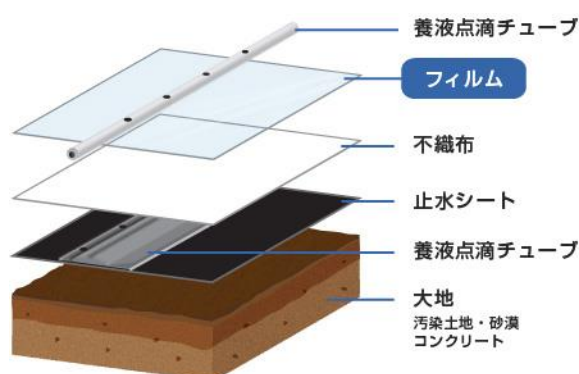
## フィルム農法で高品質な農作物を、 土壌条件を選ばずに生産！

—乾燥地でも少量の水でおいしい農作物が育つ—

国際協力機構（JICA）は2月5日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査（中小企業支援型）」においてメビオール株式会社（神奈川県平塚市、吉岡 浩代表取締役社長）が提案する「高品質・高栄養価な農作物の安定栽培を可能とするアイメックシステムの導入に向けた案件化調査（仮称）」（ケニア国）を採択しました。

ケニア国は、農業セクターがGDPの約1/4を占める主要産業であり、輸出総額では60%以上を占めています。しかしながら気候変動の影響により近年気温が明らかに上昇しており、降雨も不規則さを増しています。このような状況のもと、乾燥地や半乾燥地での安定的な農業生産が大きな課題となっています。

提案製品であるアイメック®システムは、水や養液を浸透させた特殊なフィルムを土壌の代わりに用いることにより、耕作地における土壌の有無やその性質に関わりなく少量の水での農業生産を可能とするものです。また土壌を利用しないこの農法（フィルム農法）は農業の未経験者でも短期間で栽培技術を習得することができ、さらに少量の水で栽培することで糖度の高い高付加価値な農作物を生産することも可能となります。同製品の普及により、気候変動の影響を受けにくく安定的で高付加価値な農業の実現を目指します。



アイメック®システム



アイメック®システムを利用したフィルム農法によるトマト栽培の様子

今回の調査では、首都ナイロビ郊外にあり、ケニア最古の高等教育機関であるエガートン大学等と協力して、情報収集や圃場用地の選定等を行う予定です。

本事業は、「案件化調査（中小企業支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国

の開発課題と日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2012 年度から実施されており、2019 年度第二回分は昨年 10 月に公示を行い、33 件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：(プレスリリース) 案件化調査 2019 年度第二回公示の採択結果について

[https://www.jica.go.jp/chotatsu/bmfs/2019/ku57pq00002j97yr-att/191001\\_result\\_02.pdf](https://www.jica.go.jp/chotatsu/bmfs/2019/ku57pq00002j97yr-att/191001_result_02.pdf)

<b>【本件に関する問い合わせ先】</b>	日本の元気を世界の元気に
JICA 横浜 総務課：中小企業・SDGs ビジネス支援担当	世界の元気を日本の元気に
池上、橋本、菊池	JICA 横浜ウェブサイト
TEL:045-663-3252 Fax:045-663-3265	<a href="https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html">https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html</a>
e-mail : yictad@jica.go.jp	